

心配り

第一学年

第一学年主任 関谷 信英

嵐が宮城でコンサートをを行った。二十万人が参加したと言う。その経済効果は約五十七億円ともいわれている。大変なものである。

なぜ多くの人が集まるのだろうか。

それはこれまでの嵐の努力と経験によるものと思う。

小さい時から将来を見据えてレッスンに励み、競争していまになっている。しかし、それだけではない。五人の人の柄とまわりを大切にすること、心配りもできるからだと思う。

一年生は清風に入學してたくさん、新しい友人ができ、たくさん、の新しい行事に参加して新しい生活にも慣れてきたであらう。

つい最近まで中学生だった生徒たち。ネクタイを締めて(おそらく締めたことのない人もいただろう)ブレザーに袖を通した姿を見て、大人っぽくなったと目を潤ませた保護者もいたのではないか。弁当作りにも力が入る。

時間が経つとその感動が少しずつ薄らぎ、かわりに少しずつ大人になっていく子ども

たち。生徒の成長は早く確実に進歩する。あつという間の一年だったと思う。

来年は間にはさまれる学年。上から押されて、下から突き上げられる。それでも楽しく充実した年を過ごせるかどうか、その秘訣はまわりを大切にすることにある。

1 学年担任



5組 小池先生
4組 島田先生
3組 関谷先生
2組 深沢先生
1組 町田先生



体育祭

「奇跡!4日間晴れた修学旅行」

第二学年

第二学年主任 橋本あかね

高校生活もあと一年になりました。今年度は行事が多く、あつという間に一年が過ぎてしまったように思えます。

学校行事を振り返ってみると、一学期はクラスマッチに始まり、普通科は高齢者福祉施設体験、商業・情報処理科はインターンシップがあり進路に結びつける学びを経験しました。特に挨拶やコミュニケーションの大切さを痛感した実習もありました。また、ほとんどの部活動で三年生が引退になり、中心になりました。二学期は、中堅学年として体育祭を盛り上げてくれましたが、残念ながら雨で最後まで競技ができなくなり、勝敗は付きませんでした。今年から取り入れたパフォーマンスを全学年が一致団結して作り上げました。そして、二学年最大の行事である修学旅行は、雨の予想に反して四日間とも晴天に恵まれました。平和学習から始まり、マリントレーニング、美ら海水族館でのジンベイザメの餌付けやイルカのショー、班行動では、海遊びや、ガラスづくり、史跡名勝

を訪れ、沖縄の歴史に触れ、国際通りでの買い物、沖縄の食事に舌鼓を打ったりとそれぞれの班で最高の思い出づくりが出来た一日でした。最終日は世界遺産である首里城を見学し、修学旅行を無事終えることができました。

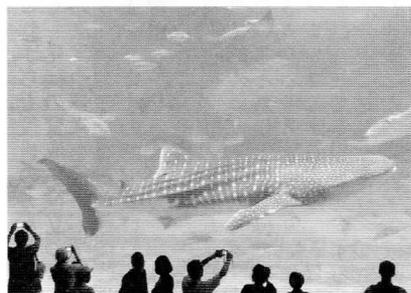
このように多くの体験、経験をした、一年間でしたが、将来のことを真剣に考える時がきました。生徒の皆さんは自分の未来をはっきりイメージできていますか。自分の性格や才能、得意、不得意分野を理解し、どんな進路にするのか、どんな職業で自分の才能を生かしていくのか選択する時期はもう間もなくです。ほしいものを得るためには努力が必要です。簡単に得ることとはできません。一生懸命努力した先に結果は付いてきます。がんばりましょう。

さて、四月からは最終学年ですが、生徒の進路実現に向けて担任一同精一杯がんばっていきたいと思っております。これからもよろしくお願ひします。

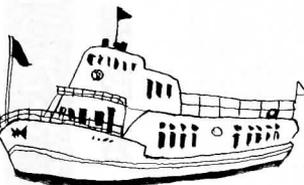
2 学年担任



5組 鈴木先生
4組 小龍先生
3組 古谷先生
2組 船田先生
1組 橋本先生



沖縄修学旅行



「EIGHT 7 SEVEN」

第三学年

第三学年主任 染宮 唯二

七期生として入學し、慣れないネクタイに悪戦苦闘していたことが夢のようです。学年末考査が終了し、『ホッ』としているところでしょうか。ついに卒業まで残り僅か